

## 食料科学委員会 畜産学分科会（第24期・第1回）議事録要旨

1. 日 時 平成30年1月29日（月）16:00～18:05
2. 場 所 日本学術会議5階 5-C(1)会議室
3. 出 席 眞鍋昇（二部会員）、足立吉数、枝重圭祐、小澤壯行、柏崎直巳、  
木村直子、佐藤英明、束村博子、梅村恭子、吉澤緑（連携会員）  
欠 席 遠野雅徳（連携会員）

### 4. 議事

- (1) 定足数の確認：10名が出席し、分科会は成立した。会員名簿の所属機関・役職等（配布資料）について、確認を行った。
- (2) 前回（第23期・第8回会議）の議事録要旨案の承認  
第23期第8回分科会の議事録要旨案を確認後、微修正の上、承認した。
- (3) 第23期活動についての報告（佐藤英明第23期委員長より）

#### A. 畜産学分科会に係わる活動報告

第23期食料科学委員会畜産学分科会の活動として、意思表示報告1件（畜産学の特性に配慮した教育・研究課題 - 飼育動物の安定的利活用を目指して - ）、公開シンポジウムの開催5件を行った。

報告内容から、次期分科会への申し送り事項として、以下の課題が挙げられた（第23期・第8回議事録要旨を参照）。第24期においても、報告等の発出等を含めた本分科会のミッションに資する活動を期待したい旨、伝えられた。

- 1) 家畜のゲノム編集技術開発における指針の作成など。
- 2) 畜産領域の技術師拡充の必要性についての検討。例えば畜産技術者が、現在の人工授精に加え、生体卵子採卵技術（OPU）や代謝検査の採血なども安全に行えるようにするための課題など。
- 3) 野生動物の生態管理とジビエへの利用促進を両立するための畜産業の関わり方についての検討。
- 4) 畜産領域におけるアニマルウェルフェアを確立・拡充する方向で活動や、家畜福祉認定師（仮称）の創設などの検討。
- 5) 今後の畜産領域でのICT導入に伴う教育の在り方などの検討。
- 6) 家畜（特に和牛）ゲノム情報について、公共的に活用できるようデータ管理・開示はどうあるべきかなど、具体的方策の検討。

#### B. 日本畜産学アカデミーに係わる活動

渡邊日本畜産学アカデミー会長の申し出により、日本畜産学アカデミーの規約改定案を作成した。次回のアカデミー総会（平成30年3月30日開催予定）で提案し、承認を求める予定である。

（4）公開講演会・シンポジウムの共催等などについて

柏崎委員より、日本畜産学会第124回大会に合わせて、本分科会の主催となる公開シンポジウム「畜産物の質的保証：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」（平成30年3月30日開催予定）の内容について説明があった。梅村委員より、日本で開催される第7回日本・中国・韓国合同草地学会大会 The 7<sup>th</sup> Japan-China-Korea Grassland Conference（平成30年7月8-10日開催予定）について、本分科会が後援する方向で進めている旨の報告があった。

以下は、審議事項

（1）第24期の役員を選出（委員長1名・副委員長2名・幹事3名）

互選により委員長に眞鍋昇委員が選出され、了承された。その後、眞鍋委員長から、副委員長に、吉澤緑委員、柏崎直巳委員、幹事に枝重圭祐委員、木村直子委員、遠野雅徳委員が提案され、了承された。以降、本会議の進行は、眞鍋委員長が務めることとなった。

（2）特任連携会員の選出

畜産学の学術分野における一層の国際化の推進のため、適任者について議論され、永井卓博士（現職：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、本部企画調整部国際室室長）を特任連携会員として推薦することが提案され、了承された。

（3）今後の日本畜産学アカデミーの活動などについて

佐藤英明第23期委員長より、第5回日本畜産学アカデミー総会（平成30年3月30日開催予定）での議事内容、1）規約改正、2）新会員の推薦、3）平成30年度事業計画案と予算案、4）新会員の任命など、について説明があった。加えて、新会員の承認後、5）特任連携会員に推薦された永井卓博士（農研機構）をアカデミー会員に任命する。6）畜産学分科会委員長に指名された眞鍋委員に事務局長をお願いする。7）梅村委員及び束村委員に監事をお願いする。8）吉澤委員、柏崎委員、小澤壮行委員、足立委員及び木村委員の5名に幹事をお願いする。についても提案され、1）～8）の議案について、承認された。

（4）第24期の活動計画について

眞鍋委員長より、第24期活動の方向性について、以下の重点事項の説明があり、意見交換が交わされた。その際参考として、農学委員会・食料科学委員会合同農学分野の参照基準検討分科会より第23期に発出した報告（大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 農学分野）について、吉澤委員より説明があった。第24期の分科会主催シンポジウムを「記録」としてまとめるなどの提案もあった。次回分科会でも、引き続き議論されることとなった。

- 1) 学協会との連携の一層の充実（シンポジウム・フォーラムなどの共同開催の推進
- 2) スタンドとなる教科書の作成、学生の活性化などの提案など)
- 3) 畜産学の学術分野における一層の国際化の推進
- 4) 女性および若手研究者の一層の充実と活躍の推進

(5) その他

次回第2回分科会は、

平成30年3月30日（金）14:30～16:00、東京大学農学部構内で開催することを確認した。

配布資料：

日本学術会議畜産学分科会（第24期・第1回）議事次第

資料1：畜産学分科会第23期・第8回会議議事録要旨案

資料2：委員会及び分科会等に係る特任連携会員の選考の在り方について

資料3：特任連携会員案

資料4：公開シンポジウム「畜産物の質的保証：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」の開催趣意書

資料5：公開シンポジウム「畜産物の質的保証：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」の講演者要旨など

資料6：第7回日本・中国・韓国合同草地学会大会のポスター

資料7：日本学術会議後援名義の使用承認基準

資料8：国際会議の後援について（後援申請様式を含む）

資料9：第5回日本畜産学アカデミー総会議事

参考資料1：第24期食料科学委員会・畜産学分科会名簿

参考資料2：畜産学分科会報告（畜産学の特性に配慮した教育・研究課題 - 飼育動物の安定的利活用を目指して -、平成29年6月21日発出）

参考資料3：農学委員会・食料科学委員会合同農学分野の参照基準検討分科会報告（大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 農学分野、平成27年10月9日発出）

参考資料 4：一般公開シンポジウム 畜産学の特性に配慮した教育・研究課題 飼育  
動物の安定的利活用を目指して のポスター

本委員会にあたっては、以下の職員が事務を担当した。

山石 あや 参事官(審議第一担当)付審議専門職(平成 28 年 4 月から)

以上